

2021年2月25日

南房総市議会 議長 青木 正孝 様

NPO 法人南房総リパブリック  
理事長 馬場未織

#### 令和2年第4回定例会 本会議一般質問の答弁について

令和2年12月1日に開催された南房総市議会における「旧平群小学校跡地の利活用について」での関壽夫議員の質問に対する南房総市商工観光部長の答弁と、議会だより「南房総」への記載について事実と異なる答弁と記載がありました。答弁の修正と、議事録の修正あるいは抹消を求めます。

商工観光部長の答弁にありました、令和2年10月における、旧平群小学校等活用事業の優先交渉権者が事業を断念した直後、商工観光課より連絡をうけ行われたやり取りは以下の通りです。

商工観光課「こういう形でバンズシティがおいてしまったのですが、次点の南房総リパブリックさんが利用するという事はありますか？」  
南房総リパブリック「これまでの経緯説明が欲しい、私たちだけでなく地域住民の方々への説明があつてからでないと検討に入れません」  
商工観光課「今現在利用する意向があるかどうかだけさらっと知りたい」  
南房総リパブリック「仮に意向があるのだとお伝えしたら、わたしたちが利用できるようになるわけですか？」  
商工観光課「優先交渉権はありません。またプロポーザルをすることになります」  
南房総リパブリック「利用する権利がない我々の意向をなぜ聞くのでしょうか」  
商工観光課「南房総リパブリックさんが幼稚園を使う予定があるなら残すことも検討しますが、ないなら幼稚園も解体の方向で考えることになる」  
南房総リパブリック「お伝えしたらわたしたちが使えるのですか？」  
商工観光課「いや使えると言うのではなく、意向だけ知りたいのです」  
南房総リパブリック「わたしたちはともかく、平群の地域住民になんの説明もない状態で、わたしたちにのみ話があり、こちらが意向を伝えることはあり得ません。それがこちらの一貫した姿勢です」  
商工観光課「今は利用する意向はないのですね？」  
南房総リパブリック「はい、平成31年のプロポーザルで優先交渉者として選ばれておらず、運営準備として組織していた状態も保持していません。その条件では利用するしないを考えると至りません」

以上が、この時の会話です。

我々が再三強く伝えていた「平群の地域住民になんの説明もない状態で、わたしたちにのみ話があり、こちらが意向を伝えることはあり得ない」という部分がすべて割愛され、「意向はない」という報告が上がることで、それが南房総市議会の令和2年第4回定例会の議事録という公文書として残り、後世に伝わることは決して容認できません。

加えて、この「打診」は、情報を内々の話としてとどめて欲しいという話と合わせてのことでした。わたくしどもはそれを守り、本件については一切口外しておりません。こちらには口止めをしておきつつ、お伝えした内容を「打診したところ意向はないとのこと」と南房総市議会という公な場で南房総市商工観光部長からの答弁として発せられること自体、承服しがたいものです。

ここに、答弁の修正と、議事録の修正あるいは抹消を求めます。(以上)